

いなざわ 議会だより

No.201

2024年
2月号



TOPICS

- 12月定例会の報告 2
- 12月定例会議決結果 3
- 質疑・一般質問 4
- 行政視察の報告 12

稲沢市議会

検索



<http://www.city.inazawa.aichi.jp/gikai/index.html>

表紙：昨年のはだか祭り

今定例会では、市長提出議案が33件提出されました。
議決結果は次ページのとおりです。
ここでは一般会計補正予算の主な概要について紹介します。

議案第70号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第5号)

…補正額 7億8,400万円

※万円未満切り捨て

住民税非課税世帯等臨時特別支援事業に係る経費

…7億8,400万円

令和5年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯に、1世帯あたり7万円を支給します。

議案第90号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第6号)

…補正額 2,063万円

(交付金等の額の確定などに伴う減額補正があるため、歳出の合計は補正額を上回ります)

稲沢東はなみずき館のトイレ改修等に係る 施設整備工事費

…4,760万円

バリアフリートイレの設置及びトイレの洋式化等をするための費用です。
工期：2月中旬～8月末の予定

清洲駅東第1自転車等駐車場の 改修に係る施設整備工事費

…650万円

駅周辺の駐輪場4か所の内、唯一未舗装のため、整備により使いやすさを向上させることで、駅周辺の駐輪場の利用の安定化を図るものです。

総合文化センター解体工事に係る 損失補償費

…410万円

工事に伴う騒音が発生する期間中、影響がある隣地する地権者の方に、仮住居へ移転していただくための費用です。



議案第100号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第7号)

…補正額 2億4,350万円

(これにより一般会計予算の総額は、517億9,812万円となりました)

いなPAY商品券発行事業に係る経費 …1億2,700万円

30%プレミアムの付いたデジタル商品券を、1人1セット13,000円分の申込みを受け付けます。2月下旬申込受付開始予定で4月下旬商品券使用開始予定です。



12月定例会議決結果

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|--------|--|--------|---------|---|---------|
| 議案第70号 | 令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第5号） | 全会一致可決 | 議案第92号 | 令和5年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 |
| 議案第71号 | 稲沢市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | 賛成多数可決 | 議案第93号 | 令和5年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 |
| 議案第72号 | 稲沢市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について | 全会一致可決 | 議案第94号 | 令和5年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） | 全会一致可決 |
| 議案第73号 | 稲沢市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について | 賛成多数可決 | 議案第95号 | 令和5年度稲沢市病院事業会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 |
| 議案第74号 | 稲沢市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致可決 | 議案第96号 | 令和5年度稲沢市水道事業会計補正予算（第1号） | 全会一致可決 |
| 議案第75号 | 稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について | 賛成多数可決 | 議案第97号 | 令和5年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 |
| 議案第76号 | 稲沢市印鑑条例の一部を改正する条例について | 全会一致可決 | 議案第98号 | 令和5年度稲沢市集落排水事業会計補正予算（第1号） | 全会一致可決 |
| 議案第77号 | 稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 全会一致可決 | 議案第99号 | 損害賠償の額を定めることについて | 全会一致可決 |
| 議案第78号 | 稲沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 全会一致可決 | 議案第100号 | 令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第7号） | 賛成多数可決 |
| 議案第79号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市老人福祉センターさくら館、稲沢市千代田老人福祉センターしいのき館及び稲沢市明治老人福祉センターけやき館） | 賛成多数可決 | 議案第101号 | 令和5年度稲沢市水道事業会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 |
| 議案第80号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市祖父江ふれあいの郷） | 賛成多数可決 | 報告第17号 | 専決処分の報告について | — |
| 議案第81号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市産業会館） | 賛成多数可決 | 同意案6号 | 教育委員会委員の任命について | 全会一致同意 |
| 議案第82号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市祖父江斎場） | 賛成多数可決 | 請願第5号 | 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第83号 | 稲沢市道路線の認定について | 全会一致可決 | 請願第6号 | 国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第84号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市勤労福祉会館及び稲沢市総合体育館） | 賛成多数可決 | 請願第7号 | 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第85号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市民会館） | 賛成多数可決 | 請願第8号 | 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願 | 全会一致採択 |
| 議案第86号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市民球場、福島野球場、稲沢市陸上競技場、奥田公園テニスコート、稲沢市東部体育センター、稲沢市武道館及び稲沢市弓道場） | 賛成多数可決 | 請願第9号 | 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第87号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市祖父江の森（温水プール、テニスコート及び多目的運動場）） | 賛成多数可決 | 請願第10号 | 小中学校の給食費無償化を求める請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第88号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市祖父江町体育館及び稲沢市祖父江老人福祉センターいちよう館） | 賛成多数可決 | 請願第11号 | 稲沢市のすべての小学校の存続を求める請願 | 賛成少数不採択 |
| 議案第89号 | 稲沢市公の施設における指定管理者の指定について（稲沢市平和町体育館、平和町須ヶ谷グラウンド、平和町六輪グラウンド及び平和町六輪テニスコート） | 賛成多数可決 | 意見書案第4号 | 国の私学助成の拡充に関する意見書 | 全会一致可決 |
| 議案第90号 | 令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第6号） | 賛成多数可決 | 意見書案第5号 | パンデミック条約の策定及び国際保健規則の改正に係る国民への情報の周知と意見の聴取を求める意見書 | 賛成少数否決 |
| 議案第91号 | 令和5年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | 全会一致可決 | 意見書案第6号 | 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書 | 全会一致可決 |

※賛否が分かれた議案等については、次ページに各議員の賛否表を掲載しています。

賛否が分かれた議案等

| 議案番号 | 創生会 | | | | | | | | | | | | 市民クラブ | | | | | 公明党 稲沢 市議団 | | 日本共産党 稲沢 市議団 | | 会派に 属さない 議員 | | | | | |
|----------------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------------------|------|--------------------|------|-------------------|-------|------|------|------|---|
| | 大野紀之 | 鵜野大助 | 土岐優子 | 平床健一 | 平野賀洋子 | 杉山太希 | 北村太郎 | 黒田哲生 | 近藤治夫 | 津田敏樹 | 服部礼美香 | 吉川隆之 | 木村喜信 | 六鹿順二 | 鈴木純子 | 岡野次男 | 志智央 | 木全信明 | 星野俊次 | 日比野貴子 | 朽本敏子 | 服部俊夫 | 曾我部博隆 | 小柳彩子 | 平野泰弘 | 山田崇夫 | |
| 議案第71号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第73号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第75号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案 第79号～82号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案 第84号～90号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案 第100号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 請願 第5号～7号 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● |
| 請願 第9号～11号 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● |
| 意見書案 第5号 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ |

※六鹿順二議員は議長のため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

Q…… 議員の質問
&A…… 市の答弁

質疑・一般質問 Q&A

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、14人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

14議員が登場

- ・土岐優子 議員
- ・日比野貴子 議員
- ・鵜野大助 議員
- ・大野紀之 議員
- ・志智央 議員
- ・黒田哲生 議員
- ・北村太郎 議員
- ・小柳彩子 議員
- ・服部俊夫 議員
- ・鈴木純子 議員
- ・朽本敏子 議員
- ・曾我部博隆 議員
- ・木全信明 議員
- ・岡野次男 議員

※発言順



学校再編について

創生会
土岐 優子 議員



Q 「学校施設整備に関する保護者アンケート調査」は一部の保護者のみが対象であった。未婚、小さなお子様を持つ世帯や地域住民に幅広く追加のアンケートを実施する必要があると考えるが、いかがか。

A 現在策定中の学校施設整備基本計画は、まずは、子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかという、「教育施設としての学校」を主眼に教育委員会で策定しているものである。そのため、アンケートは現在小学校に通っている、または近い将来に通う予定の児童を持つ保護者を対象に実施し、目的ど

おり学校施設や教育環境に対する意向の把握ができたため、追加アンケートの実施は考えていない。

Q 防災拠点としての機能を担う学校という側面について、全体最適を考え同時に計画する必要があると考える。学校施設整備基本計画ではどのような考えか。

A 教育委員会としては、まずは子どもたちのより良い教育環境を整えるという視点に立ち、学校施設整備基本計画の策定を進めている。防災拠点などの機能については、本計画とは別に、市長部局とも連携しながら検討していく。



新型コロナウイルス 対応 mRNA 型ワクチンの 後遺症対策について

小柳 彩子 議員

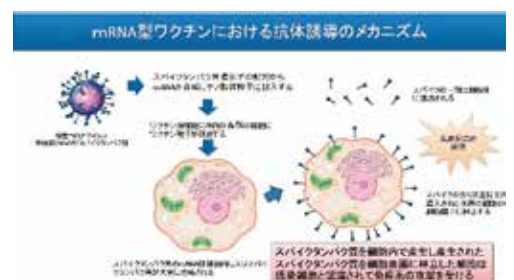


Q 新型コロナウイルス対応 mRNA 型ワクチンの接種が始まって2年半経過したが、ワクチンによる健康被害が出ている。その救済制度として、国が定める「予防接種健康被害救済制度」があるが、本市では何人が利用しているか。

A 令和5年11月末までで、合計16人、17件の申請があり、県を通じて国へ申請している。そのうち審議結果が出たものは、認定件数が8人で9件、否認件数が2人で2件。認定の内訳は、医療費・医療手当等が8件、死亡一時金または葬祭料が1件であった。

Q 先般、国内産のワクチンで mRNA 型ワクチンと mRNA 自己増殖型のレプリコンワクチンの2例が承認された。共に構造上、従来よりも健康被害の発現率が高くなることが予想されるが、これらの健康被害のリスクについて周知をする予定はあるか。

A レプリコンワクチンと呼ばれる、新型コロナウイルスに対する新しいタイプのワクチンは、現在の接種では使用されないが、後遺症のリスクについては、厚生労働省の情報を基に周知を行うため、市独自の情報発信は考えていない。



出典：東京理科大学 村上 康文 教授



AEDについて

公明党稲沢市議団
日比野 貴子 議員



Q 市内にはAEDが何台あり、主にどのような所に設置されているか。また、その周知方法は。

A 市の公共施設に100台、市以外の施設のうち県立高校、商業施設、介護施設、医療機関などに65台ある。設置場所は、救命講習会、自主防災訓練において、あいちAEDマップのホームページや市のホームページで確認ができることを伝えている。

Q 最寄りのAED設置場所へ誘導する無料アプリ「チームアスカ」について、どう考えるか。

A このアプリは、公益財団法人日本AED財団が作成したもので、119番通報のガイド機能、救命処置を学ぶ機能などがあり、人が倒れた場面に遭遇したとき、救命行動を支援する有効なスマートフォンアプリである。今後、救命講習会、自主防災訓練で伝えていきたい。

Q 倒れた方が女性の場合に胸部を覆えるようにAEDの中に三角巾を配備している自治体が増えている。このことについての本市の考えは。

A 三角巾は、プライバシーの保護だけではなく、止血、固定等の応急処置に活用できる有効なものであるため、市の公共施設については設置を進め、市以外の施設については、施設管理者と調整を図っていく。



コミュニティバスの充実について

日本共産党稲沢市議団
服部 俊夫 議員



Q コミュニティバスの運行目的・基本姿勢についてお聞きしたい。

A 本市のコミュニティバスは「市内交通空白地帯の解消」、「高齢者・交通弱者の社会参加支援」、「公共施設等への交通手段の確保」、「地域間交流の促進」を目的として運行を開始した。この目的を踏まえ、持続可能な地域公共交通の実現に努めている。

Q コミュニティバスの利用者1人当たりのコストの基準値である1,500円は、自治体のコミュニティバス全体に対するひとつの基準であり、

路線の存続・廃止の根拠にするのはおかしい。この数値だけが独り歩きするのは当初の目的と矛盾するものではないか。

A 公共交通としてコミュニティバスは持続可能なものとしていく必要があり、そのためには、利便性の向上に努める一方で、利用状況と費用面のバランスを考慮していくことが肝要だと考えている。したがって、基準値1,500円、利用状況、各種調査結果などを踏まえ、必要に応じて、実情に合わせた路線を検討している。

Q 地域公共交通会議の委員に利用者代表も加えるべきではないか。

A 利用者の意見は、アンケートを実施し、その結果を地域公共交通会議に報告している。





不登校について

創生会
鵜野 大助 議員



Q 不登校児童生徒の増加が全国的にも大きな問題となっている中、不登校対策をさらに充実させるために、今後どのように教育環境を整備していくのか。

A 令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」では、目指す姿として、①不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えること、②心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援すること、③学校の風土の「見える化」、すなわちアンケート等

を活用して、児童生徒の授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感といった学校の雰囲気把握し、学校を「みんなが安心して学べる」場所にすることが挙げられている。教育委員会としては、不登校児童生徒の学びの場を保障するために、将来的には各中学校にある別室での対応を充実させたいと考えている。また、心の教室相談員の配置など、児童生徒の心の不安を和らげるための取り組みも大切であり、そのような教育環境を整備することで、子どもたちがより安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと考えている。



放課後児童クラブにおける弁当の提供について

市民クラブ
鈴木 純子 議員



Q 長期休み期間中に放課後児童クラブを利用する保護者の多くは、弁当作りを負担に感じている。毎日学校で食べている給食であれば、子どもたちも抵抗なく食べることができ、安心安全な昼食を提供することができるが、学校給食センターを活用することは可能か。

A 給食センターは、小中学校の長期休み期間中、備品の入れ替えや機器のメンテナンス等が行われている。また、この期間に給食を提供するためには、児童クラブの担当課において調理員を確保

し、献立の作成、食材の手配、児童クラブへの配送、受け入れ場所の確保などを行う必要があり、学校給食センターを活用して昼食を提供することは難しいと考える。

Q 本市には、65歳以上のひとり暮らしで調理困難な方などに、平日に昼食を自宅まで配達する『給食サービス』があるが、こちらを活用することは可能か。

A 給食サービス事業者は、主に高齢者向けの弁当を提供しているため、児童向けの献立や分量への対応が必要となる。また、発注及び支払の面でも関係者の負担が増加しないよう、調整する必要がある。衛生面での管理や運営業者の確保などの調整を進め、弁当の提供を実施できるよう検討している。





インクルーシブ社会 の実現に向けて

創生会
大野 紀之 議員



Q 本年度策定予定の「稲沢市障害者計画」における、インクルーシブ社会の形成に向けた市の考え方は。

A 本計画では、障がいの有無に関わらず全ての子どもが共に育ち合うことを願って、インクルーシブな保育・教育の受入れ体制の拡充などを掲げている。

Q インクルーシブ社会の実現に向けた保育・教育の取り組みは。

A 働く女性の増加や社会情勢の変化などにより、障がいの有無に関わらず、被虐待児、アレ

ルギー児、外国籍児等、支援が必要な児童は年々増加している。そこで、来年度から「障害児保育指定園制度」を廃止し、公立・私立を問わずすべての認可保育施設で、インクルーシブ保育を目指した発達支援を実施する予定。また、障がい児等の「個人」に対してのみでなく、園という「環境」に対しても保育士等を通常より多く配置できるように、制度の変更を先進的に検討していく。

また、市内の小中学校では、障がいのある子どもたちの教育の充実に向け、通常の学級と特別支援学級の積極的な交流・共同学習の実施、稲沢市通級指導教室での特性をもった子どもたちの支援などを行っている。



防災力の更なる向上 について

公明党稲沢市議団
朽本 敏子 議員



Q 3会場に分かれて、参加型で行う防災訓練に変えて7年目だが、見えてきた課題は。

A 3つの支所市民センター地区での訓練では、参加する市民に限られるうえ、同じような訓練内容になりがちで、地域の独自性を出すことが難しい。また、市主催のため参加する市民にとって、受け身の訓練となってしまうことが挙げられる。

Q 自助・共助が大事といいつつも防災訓練の内容や実施方法がそれに伴っていないと思うが、市の考えは。

A 市主催の防災訓練には、様々な課題があると認識している。令和7年度以降の市主催の防災訓練については、警察、消防、自衛隊といった関係機関との連携や各地域の実情を踏まえた訓練など、訓練内容を検討する。さらに、地域が主体で実施する防災訓練に市職員を派遣するなどし、訓練が充実するよう協力していきたいと考えている。

Q 国の第5次男女共同参画基本計画に基づき、防災会議の女性委員の割合を3割に近づけるべきだと思うが市の見解は。

A 災害対応において男女共同参画の視点からも女性委員の増員が必要だと認識している。会議を構成する各種団体に積極的な女性委員の推薦を要請するとともに、公募等の手法も考慮に入れ、女性委員の割合を増やしていく。





認知症カフェについて

市民クラブ
志智 央 議員



Q 認知症当事者やその家族が集い、地域の方や専門家らとの交流を通して情報共有や相互理解を深められる認知症カフェの立ち上げ支援、継続していくための支援が必要だと考えるが、金銭的な支援や公共施設・スペースの貸し出し等の支援を考慮してもらえないか。

A 介護保険事業計画の策定委員会でも、認知症カフェを運営している委員から意見をいただいております。立ち上げ及び運営費の補助制度を考えています。公共施設の貸出しは難しいが、身近な地域で集いの場を実施することが重

要だと考えるため、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターとも連携して地域資源の掘り起こしや活用を図っていく。

Q 「認知症になったら、専門機関に相談して下さい」と言うが、相談に出向くハードルは高く、その間に悪化してしまうことが往々にしてある。認知症カフェに専門職が出向くことはとても重要なため、各地区の地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームなどに情報提供をして、年数回でも良いので訪問してもらいたいと考えるが、市の見解は。

A 専門職が認知症カフェに参加される方の相談や情報提供などを行うことは、有用なことであるため認知症カフェへの専門職の参加を推進していく。



学校統廃合 「学校施設整備基本計画」について

日本共産党稲沢市議団
曾我部 博隆 議員



Q 計画では、小学校への通学距離が半径2.5kmを超えるとスクールバスなどの通学支援を行うとしているが、バスは何台必要か。また、運行に対する国からの補助はあるか。

A 必要台数は学校の設置場所や再編時点の地域ごとの児童数、スクールバスの運行方法などで変わるため、現時点では回答できない。へき地を対象としたスクールバス購入費の補助制度があるが本市は対象外である。

Q 学校を統廃合すると、学校が遠くなる地域に子育て世帯の人は住みにくくなり、結果とし

て少子化が加速することになるのではないかと。少子化に歯止めをかけるまちづくりを進める必要があるが、市長の見解は。

A 子どもたちにとって良い教育環境を整備していくため、学校再編等の学校施設のあり方を検討していくことは必要だと考えています。今年度も給食費の半額支援など様々な子育て支援施策を展開し、市内外の多くの方に知っていただくため、シティプロモーション活動の強化にも取り組んでいる。今後も引き続き、結婚・妊娠・出産・子育てなど各ライフステージに応じた切れ目のない支援を実施することにより、子どもを安心して産み育てることができる「まち」となるよう、少子化対策への取り組みも一層推進していきたいと考えています。



学校施設整備基本計画策定委員会の様子



管理不全用地の 対応について

創生会
黒田 哲生 議員



Q 管理不全用地と言っても、空き家、空地、遊休農地等がある。状況に応じて担当部署が異なり、依頼者、用地所有者等への対応にもばらつきがある。

このような中、管理不全用地を解消するためには、所有者の改善意思やモラルのみに頼らず、庁内関係部署での市民対応の連携の見直しを行い、各課の適応化だけでなく、対応の基準やルールの標準化を行う必要性を感じる。

今後も横ばい、もしくは増大する管理不全用地の解消に向けた対応についての本市の見解は。

A 現在は、各課の対応がまちまちであり、互いの課の対応方法を知る事が大切であると感じた。

今後は、各課の対応、取り組みでいいものは他の課でもどんどん取り入れ、市全体として、より良い対応をしていくことが大切であると感じている。

そのためにも、定期的に各課の担当者が対応方法や対応事例を議論し、情報の共有を図ったり、改善方法を研究する場を設ける必要があると考える。

そうしたことを積み重ねた上で、管理不全に関わる啓発パンフレットが今よりさらに分かりやすくなればと思う。また、予防や抑止についても、市全体で考え、迅速に対応していきたい。



狭隘道路の拡幅整備 について

市民クラブ
木全 信明 議員



Q 建築基準法による道路後退線が「市民の認識不足」や「行政の指導不足」で再建築のたびに違反が繰り返されることが続くと想定されるため、狭隘道路の拡幅整備に関する条例等を制定する必要性を感じるが市の見解は。

A 各自治体を調査したところ、条例や要綱を制定し、事業を推進している。本市においても条例や要綱の制定は必須であると考えます。

Q 狭隘道路が非常に多い本市において、拡幅整備は是が非でも取り組んでもらいたいと思っているが、市の考えは。

A 狭隘道路の解消には多くの課題があるが、現下の厳しい財政状況を考えると慎重に課題を整理する必要がある。しかしながら、木造住宅が密集する地区における狭隘道路の解消は、災害に強いまちづくりに寄与するものと認識している。関係各課と連携し、他市町の状況をさらに調査研究し本市に適した制度に見直していきたい。

Q 狭隘道路整備についての市長の思いは。

A 狭隘道路解消を全て寄付に頼っている現行の制度を変更するには、覚悟が必要となる。狭隘道路のある地区にお住まいの方々にも利益があるような制度構築を根本的に考えていく。



岡崎市の狭隘道路の様子



ごみの減量について

創生会
北村 太郎 議員



Q 昨年度からごみの量はどのように変化したか。

A 家庭系ごみの処理実績について昨年度11月までの同期累計と比較すると、可燃ごみが4.7%減少、不燃ごみが0.8%減少、粗大ごみが9.1%減少している。

過去の処理実績推移は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な増加がみられたが、令和3年度以降、ごみ全体としては減少傾向が続いている。

Q 昨年はごみボックス導入について提案したが、導入の代わりに、一宮市のように一部補助は

できないか。カラスなどによるごみの散乱防止は、収集時の負担軽減にもなるため、補助金を利用した支援について検討を進められないか。

A 一宮市のごみボックス購入費補助金事業については承知しており、ごみ集積場所の管理を行う地域への支援事業として前向きに検討するところではある。しかし、本市には、スペースや立地などの問題によりごみボックスの設置に適さない集積場所が多いため、導入自治体の事業実施状況や課題などを整理しながら、調査・研究を進めている。



循環型社会の実現に向けた取り組みについて

市民クラブ
岡野 次男 議員



Q ペットボトルはリサイクル資源売却金の還元の対象となっていない。他の資源同様、ペットボトルも、売却金の還元と奨励金の交付をすべきではないか。

A ペットボトルの売却金及び奨励金については、2024年度から地域に還元・交付する方向で検討を進めている。排出にあたってラベル・キャップを外し、つぶすといった作業をお願いしているので、制度を見直す。

Q ペットボトルの水平リサイクルを地元企業と連携して実施している自治体がある。本市も

地元の飲料メーカーと連携して水平リサイクルを実現できないか。

A 地元飲料メーカーと協議を行い、調査・研究していく。

Q 本市では、スプレー缶は中身を使い切って、穴を開けて出すことになっている。環境省の指導では、穴を開ける際の火災事故防止のために、穴を開けずに出すことを推奨している。本市も、市民の安全を優先し、穴を開けない運用に変更すべきではないか。

A 現在、スプレー缶に穴を開けずに出す運用を行うべく検討中である。



App Store
からダウンロード



GET IT ON
Google Play

上の二次元バーコードをスマートフォンで読み取ることでダウンロードできます。

ごみ分別アプリ「さんあ〜」配信開始

行政視察を実施しました

稲沢市議会では各常任委員会において、所管する分野に関する知識を深め、今後の市政をより良いものにするため、先進地への行政視察を実施しています。

視察後は、本会議や委員会の場で、市長部局などへ事例を紹介したり、一般質問に役立てるなどしています。

各常任委員会の視察日程及び視察先・視察項目については、次のとおりです。

総務委員会

日程 11月15日～16日

神奈川県 横須賀市

・「ハマちゃんバス」の運行について

神奈川県 南足柄市

・メディア発信
事業について



文教厚生委員会

日程 11月8日～9日

大阪府 門真市

・門真市立第四中学校区小中一貫校整備事業について



大阪府 八尾市

・こども総合支援
センター事業
について

経済建設委員会

日程 11月7日～8日

神奈川県 伊勢原市

・伊勢原市総合運動公園の再生修復整備工事について

埼玉県 草加市

・草加市家屋及び土地の適正管理に関する
条例について



次回の定例会は

3月5日(火)開会

質疑・一般質問

- ・3月 8日(金)
- ・3月11日(月)
- ・3月12日(火)
- ・3月13日(水)(予備日)

常任委員会

- ・3月14日(木)総務委員会
- ・3月15日(金)文教厚生委員会
- ・3月18日(月)経済建設委員会

閉会

- ・3月25日(月)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。)

日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和6年5月
発行予定です。

発行／稲沢市議会

編集／広報広聴委員会

〒492-8269 稲沢市稲府町1

TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。